

お店での食べ残しの課題に取り組む 持ち帰り自己責任welcome!

(ドギーバッグ普及委員会ボランティア 湘南女子高生ユニット「PlantPitty」)

湘南女子高生ユニット「PlantPitty」が、ドギーバッグ普及委員会に協力を申出して、同委員会の持ち帰り自己責任ステッカー100枚を、地元湘南の飲食店に貼ってもらうプロジェクトを展開。

地球上で起きているが、知られていない数々の問題を一人でも多くの人に知らせたい、現状を変えたいと考え、音楽&ボランティアユニット「PlantPitty」を結成。



ドギーバッグ普及委員会の考えに賛同し、協力を申出し、同委員会の持ち帰り自己責任ステッカーを100枚入手。

「何らかの理由で食べ残してしまったとき、当たり前のように残して帰るのではなく、「後で食べよ〜っと!」とお持ち帰りする人が増えたらいいなと思っている。きっとお店の人も食べ残しを捨てるとき、心が痛いのではないのでしょうか。」と訴える。

〈ドギーバッグ普及委員会の持ち帰り自己責任ステッカー〉



SDGs目標12「つくる責任、使う責任」をベースに、関連する目標と併せて活動。

PlantPittyの活動目標

- ・食料の不平等をなくし公正と平和を築きたい。
- ・食品ロスを減らすことはゴミの削減にもつながる。

【ドギーバッグ普及委員会の考え】
同委員会では、持ち帰り専用の何回も使える容器(ドギーバッグ)を提供しているが、是非自宅にあるタッパーや弁当箱などをお客様に持参していただきたい。しかし、料理を残すことを前提で飲食店に行かれる人はいないと思うので、有料でも無料でも、お店の方にドギーバッグ用意の協力をお願いしたい。

〈ドギーバッグ普及委員会の繰り返し使える容器(ドギーバッグ)〉



地元湘南の飲食店に飛び込みで、ステッカーを貼らせてもらえるよう交渉。飛び込みと紹介により貼ってもらえる確率は70%! 令和元年度内に100枚(100店舗分)を貼り終える予定。
◎もっとステッカーを貼ってくれる店舗を増やしたいと、東京都内、島根県、北海道の生徒・学生とネットワーク化を予定。

